

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

第39回全国研究大会IN札幌

多様化する時代と変わりゆくアディクション

～生きるをはぐくむ支援～



令和7年11月1日(土) 受付開始 13:00～17:45 (終了予定)

2日(日) // 9:15～12:30 (//)

札幌エルプラザ3階ホール・4階大研修室

札幌市中央区北8条西3丁目

【主催】一般社団法人 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会

【後援】公益社団法人 日本社会福祉士会／公益社団法人 日本精神保健福祉士協会／公益財団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会／特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会／一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会

大会長よりごあいさつ

このたび、全国研究大会を8年ぶりに北海道にて開催する運びとなりました。本来であれば、昨年度開催する予定でしたが、準備や体制が整わず、1年猶予をいただいております。前回の大会は理事主催となり、理事をはじめに会員の皆さまにご配慮、ご尽力いただいたことに大変感謝しております。

さて、本大会のテーマですが、時代の変化に応じて、アディクションも多様になっていく中で多くのアプローチや支援観を改めて見つめ直し、様々な側面から新しい時代に向かって「生きるを育む」支援を考えていきたいという思いを込めています。

1日目の基調講演では「歴史を振り返りながら、多様化していく時代に向けて今後の展望」を考え、シンポジウムでは「ハームリダクション」について改めて理解を深め、生きるを育む支援について参加者の皆さまと対話できたらと思います。

2日目には、「若者」「北海道」「基礎」をテーマとした3つを企画し、さまざまな分野や職種の支援者にとって、現在から将来の支援に役立てることができるような内容となっています。

冷え込む11月の札幌市は、紅葉が見ごろとなります。秋の北海道を感じながら、皆さまと一緒に本大会のテーマについて考えていけたら幸いです。少数の支部ではございますが、会員・協力員の全員で皆さまのお越しを心からお待ちしております。

一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会 北海道支部理事
第39回全国研究大会 大会長 東谷 洋平

開会式 13:20～

基調講演 13:30～15:30 アディクション臨床の転換期と展望 ～歴史から何を学ぶか～

近年、社会や生活様式の急激な変化を受けて、さまざまな形でアディクションの問題が表面化しています。従来のアディクション治療・アプローチはもとより、当事者に起こっている背景をひも解きながら、どのような関わりが求められているか、当事者の尊厳をどのように守っていくか、支援者は改めて向き合う必要があると感じています。

本基調講演では、北海道札幌市においてNPO法人リカバリーを主宰し、依存症をはじめに摂食障害、トラウマ、家族問題、DVなどといったメンタルヘルス分野で豊富な知見をもち、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所客員研究員、作家としてもご活躍され、長きに渡りジェンダーの視点をもった女性支援(ソーシャルワーク)を展開してきた大嶋栄子氏をお招きし、「アディクション臨床の歴史」を振り返りながら、「現在地」そして「今後の展望」についてお話をいただき、本大会のメインテーマについて、皆さまと一緒に考える時間になることを期待しています。

講師 大嶋 栄子 氏 (NPO法人 リカバリー 代表)

トークセッション 15:45～17:45 ハームリダクションについて対話しませんか？

皆さんのハームリダクションとの出会いはどのようなものでしたか？
従来とは異なる新たな支援観の登場に何を思ったのでしょうか？

「ハームリダクション」は、薬物の使用に伴うさまざまな被害(ハーム)を減らす(リダクション)取り組みです。昨今あらゆる支援の場で認知されてきましたが、はたして私たちはその概念を明確に理解し実践できているか、誤った解釈のまま実践することで弊害が起きていないかを再確認していく時期にあると感じています。

そこで今回は、薬物使用がある人の立場で権利擁護(アドボカシー)など多くの活動をされている【ことうごろう氏】をお招きして、トークセッションを企画しました。

ことう氏と話題提供者との対話から、「ハームリダクション」について、「マクロ・メゾ・ミクロ」の各側面から理解を深める時間にできたらと思います。さらに、フロアの方々とも一緒に対話し、メインテーマである「多様化する時代と変わりゆくアディクション～生きるを育む支援～」について、考えていきたいと思っております。

講師 ことう ごろう 氏 日本薬物政策アドボカシーネットワーク(NYAN) ハームリダクション東京共同代表

話題提供者 坂根 宏樹 氏 (北海道支部:旭山病院 精神保健福祉士)

分科会 1 若者の生きづらさにどう向き合うか～横断的支援を考える

現代の若者たちが置かれている環境(ポストコロナ、相対的貧困、SNSの普及など)はますます複雑化しています。若者たちの暮らしには、市販薬のODやリストカット、SNSやゲームが常に隣り合わせです。若者の生きづらさに根差したアディクトの実態が把握されていないため、従来目指してきたアディクションを手放すという治療や援助の目的は、重要でありながらも同時に若者たちにとって新たな負荷を生じさせている現状もあります。

本分科会では、地域の中で子どもたちと大人が、日頃何もないときから安心して出会えるようにとNPO法人居場所づくりプロジェクトだんだん・ばあを立ち上げ、長く大学病院で若年層のクライアントと向き合ってきた加藤雅江先生をお迎えします。加藤先生の実践を通じた若年層への支援についてお話をお聞きした後、グループワークを行う予定です。若者たちの困難や苦労をどのように理解すると良いかももう一度整理し、明日から活かせる考え方や姿勢など、また、支援者自身も元気でありながら働き続けられるようなヒントをもらえる時間としたいと考えています。

講師 加藤 雅江 氏 (杏林大学保健福祉学部健康福祉学科 教授)

分科会 2 デッカイドウ 北海道のアディクションリカバリー開拓

広大な北海道は多くのものが札幌に集約される、一方、人も資源も少ない地域が広がっています。そうした大地にDr達が集い、発展させてきたアディクション医療は時代の変革を経て新たな課題が浮き彫りになり、様々な回復のカタチも根付きつつあります。この過程にワーカーはどのように資することができたのでしょうか。そして、生活支援を重視する関りはどんな形で息づいて、支援者のコミュニティを発展させてきたのかに迫ります。道内アディクション医療のパイオニアである山家Drによる草創期から現在までのお話を軸に、地域の支援者が果たしてきた役割と“今”の課題を考えます。支援される側とする側の両方を体験してきた当事者、地域の支援者である保健師、地方の専門病院の精神保健福祉士がそれぞれの経験を語り、これまでの形にとらわれない次代のアディクション支援を探ります。

講師 山家 研司 氏 (医療法人北仁会 理事長)

報告者 栞内 崇 氏 (空知病院 精神保健福祉士)

報告者 調整中

分科会3 アディクション回復支援って特別ななの？

目まぐるしく状況が変わっていくアディクション臨床では、支援者がさまざまな苦労や困難を抱えることは少なくありません。無意識に「何とかしよう!」、うまくいかないことの連続で「疲れた!」と感じることはありませんか。また、「お互いが安心して関わることのできる方法はないだろうか」「自分は当事者のための支援ができているのだろうか」などと思悩むこともあるかと思えます。

本分科会では、「問題解決しない事例検討会」の開発者で、長年アディクション臨床に携わってこられた田中和彦氏がこの日のために作成された講義動画を視聴し、アディクションをソーシャルワークの視点で解説した講義からヒントを得て、日々の苦労を労い合いながら、私たちはどのように当事者と向き合っていけば良いか、アディクション支援は特別なものなのかという問いについて考えます。最後には、質問や意見を受け付け、大会終了後に講師からフィードバックされる特典付きです。本会は、基礎講座と位置付けていますが、経験の有無にかかわらず、すべての支援者が、ずっと肩の力が抜けて燃え尽きを防ぐことができる、そしてアディクション臨床に前向きになれるグループワークの時間も設けたいと思えます。

講師 田中 和彦 氏 (日本福祉大学 福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科 准教授)

コーディネーター 東谷 洋平 氏 (NPO法人 リカバリー)

全体会 11:45～12:30 <4階 大研修室>

二日間にわたる学びの時間、特に他にも関心のあった分科会の内容を分かち合いましょう。短い時間ではありますがどんどん発言してください。

申込方法

- ピーティックスにてお申込みください。オンライン参加用のURL等は開催前日までに送付します。
- 分科会は定員が各30名程度となっており、先着順となりますのでご希望の分科会の他に第二候補まで選択してください。
- 懇親会については下段をご参照ください。

受付日時 令和7年10月23日(木) まで

URL <https://j-asw-39th-2025.peatix.com>

参加費

	両日参加	一日目(対面参加)のみ	オンライン(基調講演のみ)	二日目(対面参加)のみ
ASW会員	5000円	3000円	2000円	3000円
非会員	6000円	4000円	2500円	4000円
学生	2500円	2000円	1000円	2000円

参加費の決済方法はクレジットカードかコンビニ決済が選べます。ピーティックスをご参照ください。

お問い合わせ: NPO法人 リカバリー info@recovery-soleil.com まで

※宿泊について

本大会の宿泊について運営では用意しておりません。ご自身で手配くださいますようお願いいたします。なお、札幌市内でイベントがあり、宿泊施設が大変混みあうことが予想されます。早目のご準備をお勧めします。検索の際はJR札幌駅周辺または地下鉄大通り駅周辺で探されると会場までのアクセスが便利です。

申込用ピーティックスQR



ASW協会QR



周辺地図

懇親会について

北海道大会と言えば懇親会でしょ！こちらの方が盛り上がるかも!? お楽しみの企画もあるかも!?
北海道の美味しいものをたくさん召し上がってください！

令和7年11月1日(土) 19:00~21:00
JR札幌駅周辺の予定

会費 6,000円 程度

申込のみピーティックスのフォームにご記入ください。お支払いは当日受付時にいただきますが、10/24(金)以降のキャンセルは全額お支払いいただきます。ご了承ください。



会場へは赤線のJR札幌駅直結地下通路が便利です。